



2025年 11月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ  
代表者名 代表取締役社長 桑野 隆司  
(コード番号: 7066 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役管理部部長 栗田 智代  
(TEL. 03-6811-2211)

### 通期業績予想と実績値との差異・個別業績の前期実績との差異及び 営業外収益の計上ならびに剩余金の配当に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年11月14日に公表した2025年9月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたこと、及び営業外収益の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり2025年9月30日を基準日とする剩余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件は2025年12月25日開催予定の第24期定期株主総会に付議する予定です。

#### 記

##### 1. 2025年9月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2024年10月1日～2025年9月30日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,800	百万円 767	百万円 550	百万円 540	百万円 343	円 錢 35.97
実績値 (B)	6,103	767	559	497	432	47.08
増減額 (B-A)	△697	0	9	△43	89	
増減率 (%)	△10.3	0.0	1.6	△8.0	25.9	
(ご参考) 前期実績 (2024年9月期)	6,208	625	480	452	585	61.22

##### 2. 差異の理由

売上高につきましては、当期においてノンコア領域の縮小を進めたことにより、一時的に減少いたしました。また、本来売上を見込んでいた高売上・低利益の案件を抑制し、より利益率の高い案件へのシフトを進めたことも影響し、当初の予想を下回りました。

営業利益につきましては、利益率の高い案件への集中が進んだことにより利益率が改善いたしました。具体的には、高利益率のコンサルティング・受託開発事業へのシフト及び自社デジタルコンテンツサービスへの転換が主な要因です。また、継続的な全社コスト削減の取組みやエンジニアの内製化による外注費の抑制により収益構造の質的改善が進み、予想と同様の着地となりました。

経常利益につきましては、CVC投資案件において一部投資先の評価見直しを行い、投資有価証券の減損処理を実施したことにより、当初予想を下回りました。

他方、親会社株主に帰属する当期純利益については、連結子会社において一部事業を譲渡したことにより事業譲渡益を計上したことに加え、税金費用が当初予想を下回ったことも寄与し、当初の予想を上回る結果となりました。

### 3. 2025年9月期通期個別業績と前期実績値との差異（2024年10月1日～2025年9月30日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） (2024年9月期)	百万円 4,383	百万円 454	百万円 368	百万円 342	百万円 535	円 銭 55.97
実績値（B）	5,378	510	317	569	508	55.38
増減額（B-A）	995	56	△51	227	△27	
増減率（%）	22.7	12.3	△13.9	66.4	△5.0	

### 4. 差異の理由

売上高につきましては、前期に譲り受けた事業の寄与により、前期実績を上回りました。営業利益につきましては、M&Aに伴うのれんの償却費等が増加したことにより、前期実績を下回る結果となりました。経常利益につきましては、貸倒引当金戻入益を営業外収益として計上したことにより、前期実績を上回る結果となりました。なお、当該戻入益の詳細は後段「営業外収益の計上について」に記載のとおりです。

当期純利益につきましては、前期に一時的に発生した子会社株式売却益が当期は発生しなかったことから、前期を下回る結果となりました。

### 5. 営業外収益の計上について

#### 貸倒引当金戻入益の計上

当社の連結子会社に対する債権に関し、財政状況の悪化に伴い2023年9月期の個別決算において貸倒引当金繰入額を計上いたしましたが、財政状況の改善及び貸付金の回収が進んだことに伴い、2025年9月期の個別決算において、貸倒引当金戻入益308百万円を営業外収益に計上いたしました。なお、当該貸倒引当金戻入益は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

### 6. 業績への影響について

上記の営業外収益の計上は、本日公表いたしました「2025年9月期決算短信」に反映しております。

### 7. 剰余金の配当

#### （1）配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025年8月22日公表)	前期実績 (2024年9月期)
基 準 日	2025年9月30日	同左	2024年9月30日
1株当たり配当金	16円00銭 (普通配当 13円50銭) (記念配当 2円50銭)	16円00銭 (普通配当 13円50銭) (記念配当 2円50銭)	15円92銭 (普通配当 15円92銭)
配当金総額	144,362千円	—	152,500千円
効力発生日	2025年12月26日	—	2024年12月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

## (2) 理由

当社グループは、財務体質の強化及び競争力の確保を経営の重要課題の一つとして位置づけており、事業の効率化と事業拡大のための積極的投資と共に、配当による株主への利益還元も重要な経営課題であると認識しており、各事業年度の経営成績を勘案しながら配当による株主への利益還元を行っていく方針であります。

この方針に従い、安定的かつ持続的な配当をするため、事業投資と株主還元のバランスを総合的に考慮し、配当性向は短期的（2025年9月期～2026年9月期までを目途）には30%、中長期的にはそれ以上とする目標を基本方針といたします。

当期の期末配当金につきましては、上記方針に加え、設立20周年の記念として株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、期末配当において1株あたり2円50銭の記念配当を実施させていただきました。

これにより、2025年9月期の期末配当金は配当性向28%（前期26%、記念配当除く）、1株あたり13円50銭の普通配当に記念配当2円50銭を加え、1株あたり16円といたしました。

以上